

# 原料高で製販見直

## 牧野工業

【千葉】牧野工業（千葉県松戸市、牧野守雄社長、047-343-6970）は、原料高を受けて生産、販売体制を見直す。収益の見直しから、宮城県内に2010年の着工を予定していた新工場の建設を延期する。一方、販売面ではこれまで特化していた切削工具向けに加え、医療器具向けなどにもプラスチック製収納ケースの用途拡大を図る。「多売方式」（牧野社長）に切り替え、08年9月期の売上高5億円超（07年9月期4億8000万円）を目指す。



原材料のポリプロピレン価格が「3年前の約3倍に上昇している（同）」ことに対応する。利益率は60%程度落ちているという。ケースの肉厚を薄くするなどして、ポリプロピレンの使用量を減らす工夫を進めているが、工具以外の用途を開拓

それでも「価格に転嫁しにくく、利益を出せない状態」（同）。このため宮城県内で予定していた第2工場の新設計画を見直す。用地はすでに確保していたが、投資判断が難しいため延期を決めた。期限は未定としており、仕事量を見極めた上で対応する。併せて、販路拡大に向けた営業を強化する。各業界向け展示会への出展や、新製品を毎月発売するなどして、用途の拡大を目指す。医療器具や医薬品などを収納するケースとして、ニーズがあると見ている。

# 知財解析で新事業

## リバース翻訳に次ぐ柱に

【広島】アビリティ・インターレジネス・ソリユーションズ（AIBS、広島市中区、武田昌勝社長、082-241-7532）は、ハードやソフトを分解・解析して知的財産権などの結びつきを調べるリバースエンジニアリング事業に参入した。翻訳、マニュアル制作などの事業に次ぐ、第2の柱に育てる方針。初年度の売り上げ目標は1億8000万円。この事業を含む特許翻訳や調査などの知的財産サポート事業全体を強化し、2010年には知的財産サポート事業の売上高比率を現在の15%から50%程度に引き上げる計画だ。

AIBSは、リバースエンジニアリング事業を手がけていた東京に本社を置く企業の解散を受け、解散企業の技術系社員4人と外部協力技術者40人を受け入れた。これにより顧客ニーズが高かった知的財産サポートの一貫したサービス体制を確立できた。

企業の存続につながる戦略製品については、他社の模倣や特許侵害から社の防衛、また逆に他社の特許を侵害しないために、費用をかけて調査する需要が高まっている。AIBSは今後市場の成長が見込めると判断し、事業参入した。

AIBSの知的財産サポート事業は、東京支店（東京都千代田区）IIPサポートセンターを中核に事業展開する。将来は知的財産サポート事業専門の別会社立ち上げを検討するという。

## 夏のチェーンソー



アラミド繊維を採用

## トコが

夏はチェーンソーの需要が高まる。トコが、アラミド繊維を採用し、チェーンソーの保護カバーを開発した。従来の樹脂製カバーは、高温で変形しやすかったが、アラミド繊維は、高温でも変形しない。また、繊維の特性を活かして、保護カバーの強度を高め、チェーンソーの安全性を向上させた。トコは、この保護カバーを開発し、市場に出す予定だ。

## 越前和紙使った「紙布」 包装材など商品開発

アンクラフト

【大阪】アンクラフト（大阪市北区、青木孝章社長、06-6444-0366）は、和紙空間（福井県越前市）が開発する越前和紙から作った「紙布」を素材とした商品の展開を始める。工業デザインを手がけるアンクラフトが、書家とのコラボレーションなども行い、多様な製品を開発する。10月めどに封筒やファイル、バックケースを完成、まずはホテルなどの紙に魅力を感じたため



### インタビュー

【広島】アビリティ・ソリユーションズは、強アルカリ除菌洗剤の製造販売を手がけている。航空機の国際線機内食を製造する会社に勤めていた児玉彰社長が「食品の洗浄に塩素系薬品を使うことに疑問を持ち、化学薬品を使わない洗浄水をつくれなにか」との思いから一念発起して創業した。

## アミコーポレーション



社長 児玉

開発した「チャームスワッシュ」は、水日持続するという。素イオン濃度（pH）12の強アルカリイオン水に焼成員殺菌剤を配合し、界面活性剤で洗浄力を高め、焼成員殺菌剤を配合した。焼成員殺菌剤は、成分の95%が水でできている。この特徴から、水酸化カルシウムが除菌効果、農薬効果を高める。員殺菌剤の焼成パウダーという食品添加物を加えた高濃度アルカリ電

## 化学薬品使わない洗浄水

▽社長 児玉彰氏 所在地 千葉県千葉市中央区 野2360、0475-25-1338 資本金 300万円 売上 111万円 設立 02年8月